第１学年　生活科学習指導案

令和８年　２月１０日　火曜日　第５校時
四万十市立東山小学校
１年２組　児童数２７名
場所　１年２組教室
指導者　渡邊　真菜

１　単元名
「もうすぐ２ねんせい」（東京書籍　あたらしいせいかつ　上　ｐ１０２～１１２）

２　単元について
（１）学習指導要領における内容

（８）　自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。
（９）　自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。

（２）単元観
児童は、１学期の「なつがやってきた」や、２学期の「たのしいあきいっぱい」の単元で、身近な自然を観察したり、自然を生かして遊んだりする経験をしてきている。自然を観察する活動では、学校の周りや近くの公園で生き物や植物を見つけ、教科書や本、インターネット等で調べながら関わってきた。自然を生かして遊ぶ活動では、思考錯誤を繰り返しながら水遊びに使う物や秋のおもちゃを工夫してつくることで、友達と一緒に遊ぶことの面白さを味わった。また、「はなをさかせよう」の単元では、毎日アサガオの世話をすることで、視覚、触覚、嗅覚などの諸感覚を使って繰り返し自然と触れ合い、変化や成長に気付く経験をしてきた。活動する中での気付き・驚き・感じたことなどは、絵や文、タブレット端末での写真や動画等様々な方法で記録し、授業の導入や単元の振り返り等に活用してきた。
本単元では、年長児との関わりを深めたり、入学してからの１年間を振り返ったりする活動を通して、１年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見つけたりして、自分自身の成長や役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとすることができるようにする。これまで記録してきた写真や動画を活用しながら、１年間を振り返り、自分自身の成長を感じられるようにしていきたい。

（３）児童観

本学級の児童は、自分のやりたいことを見つけ、その実現に向けて色々な工夫をしながら活動できる児童が多い。その一方で、活動する中で気付いたことがあっても、それを友達の前で伝える自信のない児童や、どう表現すればよいか分からず困ってしまう児童もいる。

生活科においては、１学期の「なつがやってきた」の単元で、身近な自然を観察したり自然を生かして遊んだりする学習をしてきた。この学習を通して、児童は夏の野菜や植物、生き物など身の回りの様々な夏を見つけ、交流することができた。夏の自然を生かして遊ぶ活動では、材料を工夫するともっと楽しくなりそうだという新たな気付きをもち、次の活動への意欲を高める姿が見られた。２学期の「いきものとなかよし」の単元では、見つけた虫の特徴をまとめた虫カードを作成し、それを他の先生たちにも見せたいという思いから、本にして回覧し、たくさんのコメントをもらった。他にも撮った写真を見てもらいたいから、ロイロノートの機能が使えないか、校舎のどこかに掲示できないか等、色々なアイディアを出すことができた。また、２年生に『おもちゃまつり』に招待してもらった経験から、「次は自分たちが２年生を招待してみたい」「２年生に秋のことを紹介したい」という思いをもち、秋の自然物を使った「おもちゃまつり」を開き、一緒に活動を楽しんだ。児童はこの経験から、これまで以上に達成感や喜びを感じ、自分たちにもできるという自信をもっているところである。このように、各単元で自分自信の頑張り等に目を向けている児童が数名いるため、本単元の後半では１年間を振り返る中でその気づきを全体に広げ、自信をもって２年生に進級してもらいたい。

（４）指導観

小単元１の「あたらしい１ねんせいをしょうたいしよう」では、来年度入学してくる年長児に喜んでもらいたいという思いをもち、１年前の自分を思い起こして新しい１年生の気持ちや立場を想像しながら関わり方を決め、学校のことを分かりやすく伝えようとすることができるとともに、年長児と関わることのよさや楽しさに気付くことができるようにする。小単元２の「しょうたいしたことをはなしあおう」では、年長児と関わる活動を振り返りながら、年長児の気持ちや立場に寄り添った関わりができたかについて話し合う中で、自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付くことができるようにする。この気付きをきっかけにして、「これまでの学習でも成長していたのかな」「どんなことができるようになったかな」等の問いを引き出していく。小単元３の「１ねんかんをふりかえろう」では、１年前の自分と今の自分を比べながら、自分のできるようになったことを見つけたりまとめたりする中で、発表ができるようになったことや、誰とでも仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的な成長に気付くことができるようにする。小単元４の「おおきくなったじぶんをみつめよう」では、自分の１年間をまとめる中で、自分の成長と周囲の人々との関わりを感じ、自分の成長は周囲の人々に支えられていることに気付くとともに、２年生への願いをもって意欲的に生活しようとすることができるようにする。

本時は、「あたらしい１ねんせいをしょうたいしよう」の５時間目である。１年前の自分たちの気持ちと年長児の気持ちを比較し、年長児のために何ができるか様々な意見を出し合いながら活動を進めていきたい。昨年度までは、教師が考えた流れに沿って年長児の体験入学を行ってきたが、今年度は研究主題にもある『自律的に学ぶ児童の育成』を目指し、どのような活動を行うのか、どんな流れで行うのかを児童に考えさせたいと思っている。「新校舎を案内したい」「〇〇を教えてあげたい」とい

う思いだけでなく、「年長さんは何を知りたいのかな？」と相手の気持ちを考え、交流の内容をよりよくしていこうと考えられるようにしていく。このように、体験入学に向けて自分たちで意見を出し合い、計画したり準備したりしていくことで、友達と協力することの楽しさや、自分たちでやり遂げた達成感を感じられるようにしたい。また、各保育所に手紙やタブレットの meet 機能を用いて質問したり、ロイロノートで１年間の学習の記録を振り返ったりする等、年長児に喜んでもらうという目標を達成するために、児童が多様な方法で活動を進めていけるようにする。

３　研究主題にせまるための手立て

（１）研究主題

自律的に学ぶ児童の育成を目指した授業づくり
～単元デザインの創造とクラウドの活用を大切にして～

（２）単元デザイン

基礎・基本の指導	個別最適な学び		協働的な学び
【基礎・基本の指導】 自分の成長や生活を支えてくれた人々への感謝の気持ちや、これからの成長への願いをもたせるために、年長児や自分を支えてくれた人々等、身近な人々と関わる活動を大切にし、それらを十分に行わせる。	【指導の個別化】 ①年長児の興味のあることや好きな遊びなどを知るために、手紙を書いたり、保育所とオンラインの場を設定したりする。 ②自分の成長を実感させるために、年長児と交流している様子を写真や動画に残し振り返りに活用する。	【学習の個性化】 自分の成長を自覚させるために、ICT 端末に残してきた写真や動画を活用して、自らの活動を思い出したり振り返ったりさせる。	【協働的な学び】 ロイロノートでこれまで記録した動画や写真等を共有したり、友達と話し合ったりすることで、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら学び合う。

４　単元の目標

年長児と関わりを深めたり、入学してからの１年間を振り返ったりする活動を通して、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだり、自分のことや支えてくれた人々について考えたりする中で、身近な人々と関わることのよさや楽しさ、自分が大きくなったことやできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付き、進んで触れ合ったり、自分の成長や生活を支えてくれた人々への感謝の気持ちやこれからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとすることができる。

5　単元の評価規準

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">単元の評価規準</th><th>知識・技能</th><th>思考・判断・表現</th><th>主体的に学習に取り組む態度</th></tr>
<tr><td>自分たちの生活を年長児に伝え合ったり、入学してからの１年間を振り返ったりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさ、自分が大きくなったことやできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。</td><td>自分たちの生活を年長児に伝え合ったり、入学してからの１年間を振り返ったりする活動を通して、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだり、自分のことや支えてくれた人々について考えたりしている。</td><td>自分たちの生活を年長児と伝え合ったり、入学してからの１年間を振り返ったりする活動を通して、進んで触れ合ったり、自分の成長や生活を支えてくれた人々への感謝の気持ちやこれからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしたりしている。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">小単元における評価規準</td><td>1</td><td>①相手や目的に応じて、様々な伝え方があることに気付いている。
②年長児の反応を捉え、伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさを感じている。</td><td>①年長児の様子を思い描きながら、伝えたいことを選んでいる。
②相手や目的に応じて、伝え方を選んでいる。
③これまでの体験を基に、相手のことを思い浮かべながら、伝え方を工夫している。</td><td>①相手の状況に合わせて、多様な方法で、伝えたいことや気持ちを表そうとしている。
②自分たちの生活を伝えたいという思いをもち、進んで触れ合い交流しようとしている。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>③自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付いている。</td><td></td><td>③身近な人々と関わる活動を振り返りながら、相手の気持ちや立場に寄り添った関わりができたかについて話し合おうとしている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>④友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的な成長に気付いている。
⑤自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。</td><td>④1 年前の自分と今の自分を比較して、自分のできるようになったことを探したり、書いたり、再現したりして表現している。</td><td>④自分のことをもっと知りたいという思いをもって、自分の成長を振り返ろうとしている。</td></tr>
<tr><td>4</td><td></td><td>⑤自分の成長と、周囲の人々との関わりを感じ、支えてくれた人がいることについて、話している。</td><td>⑤これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、意欲的に生活しようとしている。</td></tr>
</table>

6　学習活動計画（全 20 時間）　　＊単元構想は別紙参照

小単元名	時数	学習活動	評価規準 〇記録に残す評価【評価方法】
1 あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう（9）	1 2	〇校長先生からの依頼を受け、年長児を招待する意欲を持つ。 ・入学前や入学直後の気持ちを振り返り、年長児と一緒に何をしたいか、何を伝えたいかについて話し合う。	〇思① 態① 【行動観察 ・発言 ・ワークシート】
	3 4 5 6 7	〇年長児に喜んでもらいたいという思いをもち、学校のことを分かりやすく伝えようとすることができる。 ・年長児を迎える計画を立てたり準備をしたりする。	知① 〇思② 思③ 態① 【行動観察 ・発言 ・ワークシート】
	8 9	〇年長児と楽しく関わることができる。 ・年長児を招待して、一緒に活動する。	知② 〇態② 【行動観察】
2 しょうかいしたことをはなしあおう	10 11	〇年長児と関わった活動を振り返りながら、自分のできるようになったことや役割が増えたことなど、自分の成長に気付くことができる。 ・年長児と関わった際の写真や動画を見ながら、感じたことや気付いたことを話し合い、自分たちができるようになったことを振り返る。	知③ 〇態③ 【行動観察 ・発言 ・ワークシート】
3 1ねんかんをふりかえろう（3）	12 13 14	〇１年前の自分と今の自分を比較して、自分のできるようになったことなど、内面的な成長に気付くことができる。 ・ロイロノートの写真や動画などを手がかりに１年間の出来事を振り返る。 ・これまでの記録カードや作品などを整理してまとめ、１年間の成長を振り返る。	〇知④ 思④ 態④ 【行動観察 ・発言 ・ワークシート】

4 おおきくなったじぶんをみつめよう（6）	15	○自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付き、成長した自分の１年間をどのようにまとめるかを考えることができる。 ・自分の内面の成長に目を向け、自分の成長をまとめる方法について考える。	思④ ○態④ 【行動観察 ・発言】
	１６ １７ １８	○自分の成長と、周囲の人々との関わりを感じながら、１年間の成長をまとめることができる。 ・自分の成長をそれぞれの方法でまとめる。	知⑤ ○思④ 態④ 【行動観察 ・発言】
	１９ ２０	○２年生への願いをもって、意欲的に生活しようという思いをもつことができる。 ・友達と自分の成長を伝え合い、進級後の自分の姿を思い描く。	知⑤ 思⑤ ○態⑤ 【行動観察 ・発言 ・ワークシート】

7　本時の活動

（1）本時の目標（5/20）

年長児に学校のことを紹介するための準備をする活動を通して、年長児の気持ちや立場について話し、学校のことを分かりやすく伝えようとすることができる。

（2）本時の評価規準

アドバイスをもとに、年長児にもっと分かりやすく伝える方法を考えている。

【思考・判断・表現】

（3）準備物

タブレット、振り返り用付箋、振り返りの掲示物、これまでの学習で使用した掲示物、画用紙、ペン、スクリーン、ワークシート

（４）学習の展開

	学習活動	○指導上の留意点　□評価規準
導入	１．前時までの活動を振り返り、学習の見通しをもつ。 ２．めあてをつかむ。 年ちょうさんにもっとわかりやすくつたえるためのじゅんびをしよう！	○校長先生からの感想（アドバイス）を紹介し、本時の活動の見通しがもてるようにする。
展開	３．年長児に分かりやすく伝えるためのポイントを確認する。 ・メモをずっと見ながら話すのはわかりにくいな ・ゆっくり話した方がいいね ・写真や動画、絵があるとわかりやすいね ・どこを話しているかわかるようにしたほうがいい ４．各グループで紹介の準備をする。 ①給食チーム　②先生チーム ③教室チーム　④勉強チーム ⑤学校の一日チーム　⑥学校のルールチーム ・ずっと話を聞くのはしんどそうだから、クイズを入れてみたらいいかな ・朝の準備を一緒にしてみたらどうかな	○先生たちからのアドバイスや保育所からの手紙や通信などを掲示していつでも見られるようにしておくことで、年長児の気持ちや立場を想像しやすくする。 ○児童がこれまでに撮りだめた写真や動画を共有ノートに貼り付けておき、いつでも誰でも使えるようにしておく。 ○これまでに学習で使用した掲示物等も教室に置いておく。 （毎時間）活動の後半には、進んだところまでをチームごとに適宜動画で撮影する時間を設定し、振り返りとして記録に残していく。 ○年長さんのことを考えた伝え方をしようとしているチームがあれば取り上げて紹介し、全体に広げていけるようにする。 （前時の動画も活用する。） □アドバイスをもとに、年長児にもっと分かりやすく伝える方法を考えている。 【思考・判断・表現】
終末	5．本時の学習を振り返る。 6．次時への見通しをもつ。	○振り返りはチームごとに用紙を用意し、毎時間付箋に振り返りを書いて残していく。

（５）板書計画

校長先生からのアドバイス

校ちょう先生のアドバイスをいかして

年ちょうさんにもっとわかりやすくつたえるためのじゅんびをしよう！

・せつめいばっかりはわかりにくい
・かおが見えない
・

レベルアップしたこと

・ゆっくりはなす
・しゃしんやどうが、えを入れる
・年ちょうさんのはんのうを見る

レベルアップしたこと

◎これまでの振り返り
～アナログ版スプレッドシート～